

教員名	梅島 修	所属学科	国際学科
【ゼミでは何を学ぶのか】 国際経済法は、物品やサービスの貿易、外国への投資など、国際的な経済活動に係る国と国との約束（条約、協定、議定書など）を対象とする学問です。本ゼミでは、国際経済法の主要な協定について、原典に触れて、その本質を学んでゆきます。さらに、国際経済法の専門知識を得ることばかりでなく、自分で調べる、それをまとめる、そして発表する、というプレゼンテーション能力を身に付けることも重視してゆきます。			
【どのように学ぶのか】 具体的には、2 年次後期は主な経済連携協定の条文を読んで、その内容を検討します。最近、TPP についての条文ごとの解説が専門誌に発表されていますので、取り組みやすいと思います。 3 年次前期には代表的な WTO 紛争のパネル・上級委員会報告書を講読し、後期には数名のチームごとに報告書を選定し、研究して報告する形式をとります。 4 年次前期には、投資協定、主要国の貿易救済措置などを検討するとともに、各自がテーマを決め、後期には数度の報告と討議を経て、卒論を仕上げます。			
【学んだことはどのように生かせるのか】 国際経済法を学ぶことにより、外国との物品やサービスの取引や投資がどのようなルールによって進められているかという、国際投資・取引の仕事に携わるための基礎知識を得るばかりでなく、本ゼミでの経験から、国際人として必須である、英語能力、そしてプレゼンテーション能力の体幹づくりができると思います。			
【おすすめの入門書・基本テキスト】 柳編著「講義 国際経済法」東信堂（2018） 国際経済法の専門書として、「2018年版不公正貿易報告書～WTO協定及び経済連携協定・投資協定から見た主要国の貿易政策」（http://www.meti.go.jp/committee/summary/0004532/2018/houkoku01.html からダウンロードできます）			
【まだ見ぬ君へのメッセージ】 皆さんと、一緒によりよいゼミを楽しく作り上げてゆきましょう。			